

令和7年 教育委員会第17回定例会 会議録

日 時 令和7年10月14日（火）
場 所 教育委員会室

午後3時00分～午後3時28分

議事日程

第 1 議案

【子ども総務課】

- (1) 議案第44号「令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検
及び評価（令和6年度分）報告書」

第 2 報告

【子ども総務課】

- (1) 令和7年千代田区議会第3回定例会報告について（答弁概要）

【子育て推進課】

- (1) 千代田区乳児等通園支援事業の認可及び運営に関する規則（案）の制定
について

第 3 その他

【子ども総務課】

- (1) 教育委員会行事予定表

- (2) 広報千代田（10月20日号）掲載事項

出席委員（5名）

教育長	堀米 孝尚
教育委員	長崎 夢地
教育委員	俣野 幸昭
教育委員	佐藤 祐子
教育委員	水野 珠貴

出席職員（9名）

子ども部長	小川 賢太郎
教育担当部長	大森 幹夫
子ども総務課長兼教育政策担当課長	加藤 伸昭
副参事（特命担当）	大塚 立志
子ども支援課長	大松 雄一郎
子育て推進課長	山崎 崇
学務課長	清水 直子
子ども施設課長	川崎 延晃
指導課長	上原 史士

欠席委員（0名）

欠席職員（1名）

児童・家庭支援センター所長	宮原 智紀
---------------	-------

書記（2名）

子ども法制担当係長	品治 正
子ども総務課係員	原子 智実

堀米 教育長	開会に先立ち、本日、傍聴者から傍聴申請があり、傍聴を許可していることをご報告しておきます。 ただいまから令和7年教育委員会第17回定例会を開会します。 本日は、侯野委員が遅れての出席となります。 会は成立しますので、進めさせていただきます。 今回の署名委員は。水野委員にお願いします。
水野 委員	はい。

◎日程第1 議案

子ども総務課

（1）議案第44号「令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和6年度分）報告書」

堀米 教育長	それでは、日程第1、議案事項に入ります。 議案第44号「令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和6年度分報告書）」につきまして、子ども総務課長、説明をお願いします。
子ども総務課長	はい。それでは、今回の議案第44号「令和7年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和6年度分）の報告書」につきまして、前回協議させていただいたものから特に変更はございませんが、概要だけ簡単に触れさせていただきます。 今年度の対象の事業でございますが、主要施策の成果から選定した事業が2事業、子どもの遊び場確保の取組みとおがちよ教育交流事業、それから、今年度から新たに定量的な指標というものを設けまして実施をしたものが、ア、イ、ウ、エ、オの5個で、全国学力・学習状況調査の正答率、それから、区立学校の体力・運動能力調査における体力合計点の平均値、3つ目が学級満足度尺度、4つ目が区立幼稚園の定員充足率の向上、それから、学童クラブの定員超過数という5点を、今回、定量的指標ということを用いまして、実施をしたところでございます。 有識者の方々は、前回、昨年同様でございますが、ご覧の5名の方々に見ていただきまして、有識者会議 자체は2回、7月16日と30日にそれぞれ実施

させていただいたところでございます。

資料は飛ばさせていただきまして、有識者の方々からのご意見でございますが、結構、長めに皆さん書いていただきまして、我々としては非常に参考となったところでございます。

まず、子どもの遊び場の確保の取組みでございますが、今まで量の追求をしてきたといったところで、ある一定の数はもう足りてきているのかというところで、今回、質的検討について皆様からご示唆を頂いたところでございます。

続いて、おがちよ教育交流事業でございます。こちらにつきましても、やはり小笠原という世界自然遺産がある体験は非常に貴重であると。座学だけではない深い学びを提供している体験学習として、その意味合いを高くご評価いただいているところでございます。

こちらは飛ばさせていただきまして、定量的指標でございますが、こちらの評価でございます。こちらについても、まず、学力・学習状況ですが、全国や都平均を上回る成果につきましてご指摘を頂いております。また、今後の評価・課題で、皆さんからご意見いただいているところが、年度間の変動や思考力・判断力・表現力の課題など、そういった分布状況、多方面の分析や、また、上位層はいいとして、下位層への支援強化が必要ではないかというご指摘を頂戴しております。

それから、体力・運動能力調査における合計点の平均値でございます。小学校は全国平均を上回っておりますが、中学校が課題だと。また、皆さんからコオーディネーショントレーニング等の取組をご評価いただいているところでございます。

今後の課題は、特に中学校の2年生の女子の体力の向上や、また生活習慣、食生活習慣などを含めた分析など、多面的な指標での評価をご提案いただきました。

それから、hyper-QUテストを用いた学級満足度尺度でございますが、こちらについては、小6、中1は全国平均を上回っております。区内は、最近のいじめや不登校も少し減少の傾向であるところ、それと、ウェブで、今回、今年度から、令和7年度からアンケートを答えていただくというところが、それがもう迅速に様々な分析ができるといったご評価を頂いております。

ただ、小1ギャップや、あと、学級ごとの課題など、個別の対応などが今後必要になってくるだろうというご評価を頂いております。

続いて、区立幼稚園の定員充足率の向上でございますが、預かり保育や給食の提供など、そちらについてのご評価を頂いたところです。今後は、保護者のニーズに応じた施策の充実、また、認定こども園化も視野に入れるべきだろうというご指摘を頂いております。

最後に、学童クラブの定員超過数でございますが、新設で学童クラブをつくりたり、また、放課後子ども教室、千代田区の放課後子ども教室といった

ものについての活用について、柔軟に対応したとのご評価いただきました。また、今後、私立学童とのミスマッチ、要は、学校内学童クラブがやはり人気が高いといったところの解消や、また、質的充実について、多様なニーズへの対応といったところをご提案いただいたところでございます。

また、区の対応としまして、今回ご指摘いただいたところは、真摯に受け止めさせていただきながら、できる範囲から、まずは、質的な充実、また、環境の見直しを実施していきたいと考えているところでございます。

簡単ですが、説明は以上でございます。

堀米教育長

はい。説明が終わりました。

前回、協議をしていただきましたが、何かご質問ありましたら、お願いいいたします。

長崎委員、どうぞ。

はい。ありがとうございました。

これは、6年度の報告書ということで、実際には7年度も半ば過ぎといったところで、こちらが議案として通って、おおむね取組は評価していただいていると思うのです。指摘いただいた点というのは、もう議案が通ったら、即刻、何か計画に取りかかっていただけるのかとか、その辺、また、次年度からの取組になるのかとか、その辺りはいかがでしょうか。

はい。子ども総務課長。

はい。今回できるだけ早い段階でご評価いただいているということの理由の1つですが、予算要求に、今回のご評価いただいたところ、また、課題を生かしていきたいと。それは、予算要求だけではなくて、場合によっては人員要求といったところにもつなげていけるといったところで、できるだけ前半戦でご評価いただいたというところになります。ですので、今回頂いたご意見を受けて、事業のスキーム 자체を少し見直すといったところにつながっているかと思っております。

はい。ありがとうございます。よろしくお願ひします。

例えば、運動能力とか体力などは、毎年引き継がれてやっていくものだと思っているのだけれども、ただ、言われて強化されたからこうではなくて、既にもう7年度からスタートしているものもあるのではないかと思うのですけれど、その辺はどうでしょう。

子ども総務課長。

昨年の夏に、暑いなかでも運動できる場所ということで、昨年度も、体育館、学校の体育館の有効活用ということで、夏休みの期間は遊び場として使わせていただいたのを今年度も引き続きやらせていただいたこともあろうかと思います。

また、今年度やり始めたのは、今月からでございますが、子どもたちの朝活プログラムということで、新たに校庭を使ったりして、子どもたちの体を使う場所を増やすといったところも、子ども総務課でもやっておりますし、多分、指導課でも様々授業に結びつけて、授業の中でだったり、違う形での

活動といったところも、ご意見を頂く前からやっている部分はあろうと思います。

堀米教育長

はい。ありがとうございます。

ほかにご質問はありますでしょうか。

では、すみません。

はい。では、俣野委員。

おがちよ教育交流事業に関しては、非常に高い評価を頂いているわけですけれども、去年が15人、今年が18人ということで。今後、人数を増やすとか、予算の関係もあると思うのですけれども、その辺のところはどんな感じでしょうか。

できるだけ我々も増やしたいところはあるのですが、受け入れてくれるホテルがハイシーズンのところで日程を組んでいることと、従業員の方々の高齢化もあり、受け手の問題部分もあるので、我々が増やしたいからといって、すぐさま増やせるという状況ではないという部分もあります。極力増やしていきたい意向は持っていますが、そこはこれからも小笠原村と協議させていただきながら、できれば増やしていきたいところではございます。

ぜひ、よろしくお願いいいたしたいと思います。

以上です。

佐藤委員、どうぞ。

はい。ありがとうございます。

一定の評価を頂いて、どれもとてもいい事業をやっていらっしゃると思うのですけれども、ホームページとかでは周知しているけれど、地域の方は知らないことがとても多くて、それがとてももったいないと思います。1年に1回、そこの地域に行って、そこの地域の小学校、幼稚園は、今、こういう給食が始まったんだよとか、朝活をやっているのだよとか、そういうふうに報告させてもらう場があってもいいかと思いました。

では、子ども総務課長。

何をどうしたらいいのかと、少し悩みはするのです。一番は、多分、学校長の先生方に地域への説明といったところでやっていただくのが、一番説得力があると思いますし、我々よりも地域の方々に密着して、いろいろやっていらっしゃるかとは思いますが、当然、教育委員会としてやっている事業もございますので、もし、そういう場があれば、我々も参加させていただいて、教育委員会はこういう事業をやっているよと。今、俣野委員おっしゃっていたおがちよ交流事業もそうかと思います。やはり、こういう事業があるということを知っていただいて、参加者の促進といったところもありますし、それだけではなくて、今、子ども総務課でやっている教育ローンの利子補給金であったり、給付型奨学金といったところの申込みを、そういう制度があるんだよといったところを知っていただくきっかけといったところも、今後考えさせていただければと思います。

お願いします。

佐藤委員

堀米教育長	よろしいですか。
佐藤委員	はい。どうしても学校に近い人はいつも決まった人が多くて、地域の方々がやはりなかなか学校や幼稚園のことを知ることができないので、朝、公園で子どもたちが遊んでいて、あれは何だろうという話になったりもするので、町長会議とか、地域の方が集まる会議にそういう報告・周知をする場があると、きっと各町長さんから下りていって、皆さん、教育委員会といふのはこういうこともやっているのだな、学校といふのはこう変わったのだなというのがよく分かるかと思います。
子ども総務課長	分かりました。
堀米教育長	千代田区の教育のホームページ、それから学校のホームページというのを見てもわないと、見られないというのがあるけれど。
堀米教育長	情報を積極的にこちらから地域にも与えていくようなことは、何かどんな方法が考えられるかと思って。
佐藤委員	各連合町会で町長会議を、大体、毎月やっているので、そんなにしょっちゅうではなくてもいいから、年に1回でもそういうところに報告をさせてもらう場があってもいいかと思います。
堀米教育長	では、また担当課と連携しながら。
子ども総務課長	そうですね。
堀米教育長	そういう情報を流していくということはできるのではないかとは思うのですけれど。
水野委員	水野委員、どうぞ。
水野委員	今のを受けて、すみません。
堀米教育長	以前に、ほかの自治体の広報紙を見たときに、教育委員会のコーナーがあって、今、こういうことやっていますという説明がありました。スペースをつくるのは難しいかもしれませんけれど、区内全世帯に配られるものなので、そこに、教育委員会で何をやっていますというコーナーを、時々でもつくってもらえばと思いました。今、こんなことをやっているのだとか、一番、全区民に対してお知らせできる1つのツールではないかと思います。ご検討いただければと思います。
子ども総務課長	子ども総務課長。
子ども総務課長	今、うちで持っているのは、まず、教育広報かけはしで、あれが年に3回の発行なので、やはり見てもらうという回数は少ないのかと。また、すぐ一回での配信であったり、ホームページには掲載はしていますが、広報紙と違って、全員に配付しているわけではないので、広報紙を例えどどのくらいの頻度にするかとか考えなければいけないです。そういうところを使って、教育委員会の事業、個別では、広報千代田の掲載事業といふのは記載しているのは間違いないのですけれど、まとまった形で確かに掲載といったところはお願いしておりませんので、どういう形ができるか、また広報広聴課とも相談しながら、そちらについても検討はしてまいりたいと思います。
	先ほど佐藤委員におっしゃっていただいた町長会議や婦人部長会議、8

連合について説明をするというのも、もちろんやり方としてあろうと思ひますので、そちらも含めて、トータルで広報をどういうふうにしていくのかといったところは考えていきたいと思います。

堀米教育長

いろいろ担当課と相談しながら、できる範囲でやって。教育委員会の動画配信は、毎回出しているのだけれど。

子ども総務課長

そうですね。

今年、Y o u T u b e の配信のことでご報告をさせていただきまして、Y o u T u b e の掲載回数が多過ぎてしまったという部分もあったりはするのですが、それ以外に、やはり教育委員会がどういう事業をやっていて、ちゃんとそれが区民の方々にある程度情報として入っている、入っていないは大きな話かとは思いますので、そういうのは、全体を考えて、広報周知に努めていきたいと思います。

堀米教育長

行事予定の辺りにも、何かそんな項目を、全部でなくていいから、こういうのをやりますよとか、これからこんなのをやっていくというのは、今のご意見で、やってもいいのかと。例えば、何月から朝活を各小学校でありますよと、行事予定のところでも、何かそういうものでやっていくと、結構、見る人はいるのではないかと思います。

そうですね。

それも含めて検討していきたいと思います。

ありがとうございました。

ほかに、この件について、ご質問ありますでしょうか。

(なし)

では、こちらは議案ですので、採決を採ります。

賛成の教育委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

はい。全員賛成により可決されました。

ありがとうございます。

◎日程第2 報告

子ども総務課

(1) 令和7年千代田区議会第3回定例会報告について（答弁概要）

子育て推進課

(1) 千代田区乳児等通園支援事業の認可及び運営に関する規則（案）の制定について

堀米教育長

それでは、日程第2、報告事項に入ります。

令和7年千代田区議会第3回定例会報告（答弁概要）につきまして、子ども総務課長、説明をお願いします。

子ども総務課長

はい。それでは、第3回定例会でございますが、前回に引き続きまして、今回、代表質問・一般質問について、こういった質問があったというところ

だけご説明を軽くさせていただければと思います。

まず、自民の富山議員から、物価高騰対策ということで、中高生世代応援手当と5,000円のギフトカードの暮らし支援事業の給付方法について、ご質問いただきました。それから、公明党の米田議員から、子育て施策について、区内在住の外国人数の増加傾向、そちらの現状と課題、今後の取組について、また、朝の居場所づくりについて、ご質問いただいたところです。

続いて、一般質問でございます。自民の永田議員から、外国人対策ということで、本区では中国人住民が増加しており、公立学校の受け入れ体制に懸念があるという趣旨のご質問を頂きました。続いて、公明党のえごし議員から、誰一人取り残さない学びの実現についてということで、区の不登校対策や多様な学びの場の確保、バーチャル・ラーニング・プラットフォームなどの現状と今後の進め方についてと、2番が不登校などの子どもの保護者が知りたい情報を得られる共有できる仕組み、支援・相談体制づくりが大きなくくりの2点目の質問と、3番目が、カームダウン・クールダウンスペースということで、パニックや感情など高ぶったときに気持ちを鎮められるための空間などの設置を検討してはどうかというご質問を頂きました。続いて、次世代会派の岩佐議員です。内申書についてということで、中学校における調査書について、内申書について、学校や地域間での格差が生じないよう対策をしていくべきではないかというご質問を頂きました。最後です。次世代の岩田議員から、区の最も有効と考える酷暑対策はということで、教育委員会に聞かれているのが、この酷暑の中、学校飼育の動物たちの今後はというこの趣旨の質問を頂いたところでございます。

詳細については、こちらの資料に記載してございますので、こちらは、申し訳ございませんが、後ほどご確認を頂ければと存じます。

簡単でございますが、私からの説明は以上でございます。

はい。この件に関しまして、ご質問ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(なし)

はい。続きまして、千代田区乳児等通園支援事業の許可等に関する規則の制定について、子育て推進課長、説明をお願いします。

まず、この規則の目的ですけれど、こちらは、児童福祉法第34条の15第2項の規定に基づく乳児等通園支援事業、いわゆる、誰でも通園制度、こちらの認可に関する事務について必要な事項を定めるというものでございます。

規則の内容としましては、認可の手続ですとか、認可内容の変更、廃止、休止、それぞれの届出で使う様式、そちらを定めたというところでございます。

内容としては以上でございます。

はい。それでは、ご質問等ありましたら、お願いします。

これは、手続上の様式等を定めたということですね。

そうですね。認可申請書の様式とか、そういうものですね。

堀米教育長

堀米教育長

子育て推進課長

堀米教育長

子育て推進課長

堀米教育長 何かご質問ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。
(なし)

◎日程第3 その他

子ども総務課

- (1) 教育委員会行事予定表
- (2) 広報千代田（10月20日号）掲載事項

堀米教育長 はい。それでは、日程第3、その他事項に入ります。
教育委員会行事予定表、広報千代田（10月20日号）につきまして、子ども総務課長、説明をお願いします。

子ども総務課長 はい。それでは、予定表から入ります。
まず、本日、教育委員会終了後、18時からおがちよ教育交流事業の報告会を実施いたします。その後は、指導課訪問、また、運動会等々がありまして、10月28日には、16時からでございますが、総合教育会議をやらせていただきたいと思っております。その後、11月5日、6日が合同子ども会で、オリンピックセンターで教育委員の皆様にご出席を賜る予定でございます。

大きなところは以上でございます。まず、予定表は以上でございます。
その後、10月20日号の広報千代田でございます。

合計23件の件数でございますが、子ども部の案件としましては、4つでございます。子ども総務課がポニー乗馬会、これは青少年委員会の主催の事業です。子育て推進課が誰でも通園制度の実施事業者の募集、それから、児家センさんが2件で、ママのためのリラックスヨガと親と子の絆プログラムと。あとは、文化振興課と生涯学習・スポーツ課のお知らせ記事となってございます。

説明は以上でございます。
はい。以上、これについて、何かご質問ありますでしょうか。
運動会は委員さんが出られるとき、何か指導課で案内はあるのでしょうか。

指導課長 指導課長。
またご案内を差し上げて、それぞれ個別に出られるところをまたご返信いただければ、こちらで調整いたしますので、よろしくお願ひします。

堀米教育長 では、行けそうなとき、またご連絡いただければ。お願ひします。
よろしいでしょうか。

堀米教育長 本日は、今のところ、教育委員さんから情報提供はございませんが、今、何かここでありますでしょうか。
よろしいですか。

(なし)

堀米教育長

はい。では、本日の教育委員会は、以上をもちまして、閉会といたします。

ありがとうございました。

この後、閉会後の報告がございます。